大樹町地域公共交通計画推進に向けたスケジュール案

資料３

施策内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
施策① 市街地の各種生活利便施設を回遊する市街地循環バスの運行	実証運行内容の検討	実証運行周知チラシの作成	実証運行内容の周知	実証運行実施	実証運行結果の取りまとめ	本格運行内容の検討							
施策② 農村部におけるふれあいバス等の各種モビリティの統合・高度化	78条申請書類の作成	運輸局への申請手続き	R4.10.本格運行開始（6月に運輸局にﾌｨｰﾀﾞｰ申請）	本格運行継続									
施策③ 自動運転技術等の先進技術への対応	技術革新の状況を踏まえ、適宜活用を検討												
施策④ 道の駅における交通拠点機能の強化	道の駅における実証運行チラシの配置	町内交通に係る公共交通マップの配置	バスロケ等のICT活用を検討										
施策⑤ 町内を運行する全ての公共交通を網羅した公共交通マップの作成・配布	公共交通マップの掲載内容の検討	公共交通マップの作成	公共交通マップの各種施設への配置	公共交通マップのICT化の検討									
施策⑥ 全町民を対象とした公共交通乗り方教室や試乗会の実施	公共交通乗り方教室・試乗会内容の検討	試乗会の実施	試乗会等の継続実施										
施策⑦ 町民とともに検討し続ける公共交通利活用ワークショップの開催	ワークショップ内容の検討	試乗会と合わせたワークショップの開催	ワークショップの継続実施										
施策⑧ 町民等が利用したくなる運賃施策の検討・実施	運賃施策等の検討	運賃施策等の継続検討（適宜実施）											
施策⑨ 町内小中学生を対象とした町内公共交通を考える機会の創出	車両マッピング案の検討	小中学生とのコラボ内容の継続検討（適宜実施）											
施策⑩ その他、大樹町に住み続けるために必要となる各種交通施策の実施・継続	関係各部署からの意見出し（適宜実施）	関係各部署から継続的に意見出し（適宜実施）											
施策⑪ 大樹町地域公共交通会議の機能強化	★	★	★	施策の推進状況に合わせて適宜実施									